



Editor
調査広報委員会
Printing
吾妻印刷

new design
発行日 R2.03.01

home page



目次 contents

- 01 「第19回 生徒研究発表会」開催
美術部ラベルデザイン協力「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」参加
- 02 行事アルバム
令和を生きる君たちへ
卒業生へ贈る言葉
- 03 農場より
インタビューwith
陸上競技部
バスケットボール部、始動!
- 04 二年次生 修学旅行
筆箱の中身は何じゃろな?
PTA活動報告
編集後記



▲「外国人に和製英語を聞いてみた!」

本校では最後の開催...!

第19回 生徒研究発表会、開催!

本校からは3チームが発表。
[mum mumプロジェクト]
佐藤真歩 渡邊香穂 星野琉夏
「外国人に和製英語を聞いてみた!どれくらい伝わるの?~」
三ノ戸雪菜 渡邊ちはる
「ぬいぐるみの服を作ってみよう」
鈴木日菜多 菊地梨葉

▲「mum mumプロジェクト」

美術部1年次生
「菊のお吸い物」
ラベルデザイン協力

「道の駅安達」で販売される「菊のお吸い物」のラベルデザインに本校の美術部員が協力しました。商品は秋ごろから店頭に並んでいます。

デザイン: 原菜は美術部1年次生の4名(安齋美加さん、安齋莉子さん、菅野善香さん、桑原利奈さん)が担当しました。和を感じさせた温かみのあるデザインになりました。今後も継続して販売されること、売り場にお立ち寄りの際には、探してみてもいいかもしれません。

Good Agricultural Practice

GAP食材を使った→ おもてなしコンテスト

OMOTENASHI CONTEST

参加!

家庭×福祉×農業

2020年オリンピック・パラリンピック出場選手を地元食材でもてなすという「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」。全国で40の農業系高校が工夫を凝らしたおもてなしを考案しました。本校では「アスリートファースト~総合学科の魅力を結集したおもてなし」と題し、二本松市と連携してクウェート代表選手をもてなします。

家庭科が調理と浴衣の着付け、福祉科がおりがみ、農業科がGAP農産物を担当し、各科が協力しておもてなしの心を表現しています。クウェートの国民食は「ピリヤニヤ食後のデザート」が特徴です。校内で行われた試食会でも、それらの料理をアレンジしたメニューが振る舞われました。参加者は、「美味しさ」には国境が無いのだなあと改めて感じる事ができました。

三年次生 修学旅行

School trip

10月22日(火)から10月25日(金)の4日間
広島・京都・大阪の旅に行きました。



10/22 (火) 宮島 宮島口→西広島駅→土橋駅 大広島平和記念公園 大原爆ドーム 広島駅→京都駅→稲荷駅 大伏見稲荷大社 大伏見稲荷→三条駅 大京都宿泊

10/23 (水) 宮島 宮島口→西広島駅→土橋駅 大広島平和記念公園 大原爆ドーム 広島駅→京都駅→稲荷駅 大伏見稲荷大社 大伏見稲荷→三条駅 大京都宿泊

10/24 (木) 個別自主研修 (京都)

10/25 (金) ユニバーサルスタジオジャパン 伊丹空港 福島空港 学校

PTA活動報告

本年度の本校PTA主催による主な活動は次のとおりです。ご協力、ご支援くださいました関係者の皆様、ありがとうございます。

- 4月27日 父母と教師の会総会
- 7月8日 PTA会報「東風 第89号」発行
- 8月3日 PTA研修旅行 (医療創生大学・ワンダーファーム) 登校時一声運動・マナーアップ運動
- 10月1日 二本松提灯祭り補導
- 10月7日 二本松提灯祭り補導
- 3月1日 PTA会報「東風 第90号」(本紙)発行

筆箱の中身は何じゃろな?

3年次生 本多 海翔くん
お気に入りのペンは、低重心で、書き心地が最高に良いとのこと。

使い心地を重視しています!

1年次生 酒井 優太くん
こだわりすぎてシャーペンが3本!?
中でも「ラミー2000」は使い込むほどにボディに光沢が出てくるペンらしい。

主役のペンは黒で統一しました。

2年次生 土屋 颯希さん
写真やイラストのシールは100均の材料で手作りできるらしい。

筆箱を開けば、「推し」がいっぱい!

編集後記

今回は90号ということで、節目の数字です。第一面の雰囲気を一変したり、取材方法を工夫してみたりと、従来の版から変化させてみようと思いました。今号を作成にあたり、ご協力いただきました皆様、また目を通してくださる皆様に感謝申し上げます。

本校は統合に向けてだんだんと動き出したところですが、「新しいこと」に挑戦し続ける姿勢は、無くさないで行けたらいいなあとは思います。次号もさらに充実した誌面を目指し努力してまいります。

行事アルバム

Event Album

写真で振り返る



卒業生へ贈る言葉

PTA会長 茂木 善勝

三年間の高校生活を終えて卒業される皆さんに心からお祝いを申し上げます。卒業生の中には「継続は力なり」という言葉を贈ります。皆さんはこれまで様々な経験を重ねてこられたと思います。これから将来に向けて「こんな人になりたい。こんな事をやってみたい。など、目標がみついたら、決して投げ出さずやり続ける努力を惜しまないで下さい。そして、生涯を通じて、私にはこれがある。そんな物に出会えることを願っております。

皆さんは、この三年間、自然豊かな環境の中、総合学科高校として、特色ある学習活動や部活動、生徒会活動など様々な場面で新たな伝統を作ってきました。令和最初の安達東高校の卒業生としての、誇りと自信を胸にこれらの活躍を心からお祈りしお祝いの挨拶と致します。

卒業生の保護者の皆様、本日は「卒業おめでとう」でございます。心からお祝い申し上げます。本校での三年間の学校生活を礎に新たな第一歩を踏み出してほしいと思います。

在学中は、部活動・農業クラブ・家庭クラブ等で頑張ったり、輝いている生徒の姿を見るのができました。二年次の「翔高祭」も推定来校者数、千人を超える大成功に終わりました。中堅学年として大いに活躍してくれました。皆さんは平成生まれ、令和が活躍の場です。これからも多くのことを学び、成長し続けてください。

終わりになりますが、卒業生の保護者の皆様には「これまで本校の教育活動に多大なるご理解とご支援を頂いたこと、深く感謝申し上げます。これからも本校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。



from farm 農場より

今年度の取り組み

東北農政局が主催する「ティスカパー 農山漁村の宝 受賞 12月12日」において、農業コース畜産専攻班の養蜂の取組が評価され受賞となりました。本校は学生で唯一である東北地区の優良事例に認定されました。東京エレクトロホール宮城において選定視察式に参加しました。

ティスカパー農山漁村の宝受賞 12月12日

東北農政局が主催する「ティスカパー 農山漁村の宝」において、農業コース畜産専攻班の養蜂の取組が評価され受賞となりました。本校は学生で唯一である東北地区の優良事例に認定されました。東京エレクトロホール宮城において選定視察式に参加しました。

11月12日

東京エレクトロホール宮城において、農業コース畜産専攻班の養蜂の取組が評価され受賞となりました。本校は学生で唯一である東北地区の優良事例に認定されました。東京エレクトロホール宮城において選定視察式に参加しました。

Interview with 陸上競技部

大会で常に結果を残し続ける陸上競技部。今回は、普段の活動の様子が知りたいということでお話を聞かせてもらいました。

陸上競技部の良いところは?

2年次生 まます、イケメンが多いですね笑 それに加え自由なキヤラが多いよね。でもストイックな面もある。甘えがあったらお互いに声掛けして頑張っていますよ。根は真面目なんだと思います。

部活のなかで何が好き?

2年次生 いつも楽しんでいる。最近では全員が県大会を目指すという、高い目標があるけどとにかく練習は楽しい。これは顧問の先生の指導のおかげです。

1年次生 みんな仲がいい。先輩は相談に乗ってくれるし、濃いキヤラの先輩と一緒にやる練習が本当に楽しい。好きだから自然と続けられる。

陸上競技部の強みは?

2年次生 まず五つの技術種目が強いこと。部全体を見渡すと、高校から始めた生徒が多いことは、大会前に釘や面びょうを踏んでケガする人が出ること。

1年次生 部室の力を最後に返す役はみんな嫌だから、自然と競争になります(笑)

3年次生 3年生の責任感。

2年次生 最高、背中を叩いてくれる。人が一人個性が役割違う。強く優しく先輩たちです。へんが出来るもつてくれます。

1年次生 すていしかな言えない。心の距離が近い。全員を県大会へ行かせてくれたこと、感謝しかありません。

顧問のコメント

陸上競技部を取り組んでくれる生徒は本当に素晴らしいです。今後も一人ひとりの目標達成の手助けできればと思います。

バスケットボール部、始動!!

何か新しいことに挑戦する...。はじめは心配かもしれませんが、今しかできないことに挑戦し、楽しむことで大切な経験です。このコーナーでは、昨年度に声を上げたバスケットボール部を紹介しよう!

バスケットボール部の歴史

昨年度6月に愛好会発足。今年度5月に部活動に昇格。現在は、各大会公式戦に出場できるようになりました。

普段の活動

ストレッチをしっかり行い、シューティング練習を毎回欠かさず行うようにしています。人数は少ないがゲームも行うようにしています。

メンバーの活躍

男女分け隔てなく仲が良く、練習後でも集まって話をしたりしています。

部長のコメント

団体競技なので、かかるとか、かかるとか多いため、そこをまとめていくのが難しい部分もあります。そして、お互い助け合ったり、教え合ったりしている時はチームとしてまとまりが出てきた感じがしてとても嬉しいです。

顧問のコメント

ゼロからのスタートは大変ですが、そこを面白く感じ、人が学校や社会へ必要です。バスケットボールを通じて、工夫する楽しさを感じ、困難を乗り越える強さを身に付け、一人ひとりが集団の中で輝いてほしいと思います。

